

雑感

\vec{a} をどう読みますか？

■ 数学の記号をどのように読めばいいのか困ることが多い。きちんと決まったものがあるようで、実はないのかも知れない。慣例でこのように読んでいるというものが市民権を得ている場合、その読み方が一般的だと考えられるのだろう。

■ ネットで「数式の読み方」でググってみれば、
<http://izumi-math.jp/sanae/report/suusiki/suusiki.htm>
などがヒットするが、これが完全に正しいというものでもない。不等号を生徒に読ませると、読めないか、ずいぶん苦勞して意味を説明し出したりする。極めつけは「<」を「く」（ひらがなである）と読んだ強者もいる。

私は「小なり」という読み方を指導するが、なかなか定着しない。

■ さて、 \vec{a} をどう読みますか？

私は高校、大学とずっと「ベクトル a 」と読んできて、不都合を感じたり、「読み方がおかしい」と指摘されたことはなかった。

ところが、教員になって、同僚の中では「 a ベクトル」と読むのが多数派のような印象を受けて、驚いた。

どちらが正しいかは、例によって何ともいえない。上の HP でも「ベクトル a 、 a ベクトル」と2つが併記されている。

そういった教員の指導を受けている生徒たちだから、「 a ベクトル」と読む生徒が、当然多い。

■ 私は「どちらの読み方もあるみたいだよ」と言って逃げていたが、最近は「ベクトル a 」と読む方がいいと思うよと言って、その読み方を指示している。

その根拠は次の通りである。

■ 「点 P 」「直線 AB 」「実数 x 」「複素数 z 」「関数 $f(x)$ 」「行列 A 」などのように、数学上のあるもの（概念）にある文字（列）の名前をつけるとき、そのものがどういう名前と呼ばれるものかを先に言い、その後に文字（列）を持ってくるのが一般的だからである。

「 P 点」「 AB 直線」「 x 実数」「 z 複素数」「 $f(x)$ 関数」「 A 行列」という言い方は（多分）しない。

その流れで言えば、 \vec{a} は「ベクトルであるということを先に言って、その後にその名前 a を言う」のが適切であり、「ベクトル a 」という言い方が妥当だと考える。

■ 私が現在仕事をしている「県」で、「 a ベクトル」という呼び方が跋扈しているのは、紛れもなく高校でそのように教わった（聞いた）連鎖があるからであり、一種の「方言」なのかも知れない。

でも、全国的には多数派はどちらなのだろう。